

## 企業を伸ばす 地域を活かす 2

〈神奈川県編〉

⑭

# 長期安定株主として経営者に寄り添い 成長支援を行っていく

神奈川県には横浜や湘南、箱根といった人気の高い観光地が数多くあり、江ノ島は2020年東京オリンピックのヨット競技の会場にも選ばれています。

経済の中心地である横浜市には、1859(安政6)年に日本で最も早く開港した横浜港を背景に貿易・港湾業務を手がける企業や、同市に本社を置いて世界に展開しているグローバル企業が多数あります。

当社の投資先には神奈川県を代表する優良企業が多く、昨年12月には、石油製品の海上・陸上輸送を手がける上野グループを統括している上野興産(横浜市中区)に投資させて頂きました。同グループは、横浜港が開港して間もない1869(明治2)年に創業し約150年の歴史を持つ、港町・横浜の歴史を象徴する企

業です。

また今年1月に投資させて頂いたシンクロン(横浜市西区)は、カメラレンズやスマートフォンの液晶画面にコーティングを施す薄膜形成装置を製造販売。山形県鶴岡市と中国・上海の工場で生産された装置の約8割が海外で利用されているグローバル企業で、同分野で世界のリーディングカンパニーです。

経営者に寄り添い、長期安定株主として投資先企業の成長発展を支援する当社だからこそできる、長期的視点に立ったサポートを行っていきたいです。投資先企業の経営者からは、自社にとって将来的にどんな株主構成が理想的なのかといった資本政策の相談をいただくことが多く、「自分の子供が将来社長として会社をしっかり経営していけるのかどうか心

配だ」という声もよく聞きます。

そこで当部では、神奈川県、山梨県、静岡県、長野県などの投資先企業の後継者が、取引などの利害関係がない中で、それぞれの悩みを打ち明け、皆で解決策を考える勉強会である「若手経営者の会」を運営しています。たとえば「年上の番頭格の経営幹部とどう付き合うか」を始め、自社でうまくいった事例を仲間同士で共有する学び舎になっています。

私自身、理系出身ということもあり、メーカーなどを訪問する際には事業内容を丁寧に聞き、独自の技術や工夫、その会社でしかできないことなどをきちんと理解することを心がけています。

神奈川県は、鎌倉市出身である私にとって、なじみの深い地域。地元の企業の成長に貢献することが私の目標です。



東京中小企業投資育成 業務第4部  
部長代理

## 安井晋典さん(40歳)

1977年5月神奈川県生まれ  
2004年3月東京大学大学院 新領域創成科学研究科修了  
2004年4月東京中小企業投資育成に入社 創業期投資支援室に配属  
2008年9月業務第3部に配属  
2009年4月業務第2部に配属  
2014年4月業務第4部(静岡県担当)に配属  
2017年4月業務第4部(神奈川県担当)に配属され、現在に至る